

情報を集める

正しい状況判断のために

日頃から災害に関する知識や情報に触れる機会を積極的に持ち、いざ地震や水害が起こった時は、的確に行動しましょう。災害の時は、信用できる情報に従い、落ち着いて、素早く行動することが重要です。

日頃 地震や水害を知る

日頃から家族で、災害を想定した話し合いをすることは、とっさの判断にとっても役立ちます。また、テレビのニュースなどの報道や特集番組を見たり、防災関連の書籍などで災害の現実を知ること、いざというときに何かと役立ちます。また、市や地域の防災訓練などにも積極的に参加しましょう。

家族が離れ離れになったときの連絡方法を決めておく

- 居住地から離れた親戚などが中継点となる電話連絡網を作って置く。
- 避難するときは玄関などに行き先を書いたメモを残す。

避難時の家族の役割分担を明確にしておく

- 非常時持出品チェック係、赤ちゃん係、電話連絡網係など

防災関連ホームページの閲覧、防災関連商品の情報の入手

- 公共機関、民間団体、個人サイトなど、防災関連のサイトも、こまめにチェックしてみる。

災害時 正確な情報を入手する

いくら地震や水害についての知識があっても、正しい判断をするためには、その時の、より最新で正確な情報をつかむ必要があります。デマにまどわされたり、憶測による判断は二次被害を生む危険性があります。市の広報車や、ラジオ(FMハーバーラジオ:76.1MHz)で正確な情報を入手しましょう。

デマにまどわされないための正しい災害情報の入手手段の確保

- 正確な情報を得るためにラジオは必需品。非常持出品の中にラジオや乾電池を常備しておく。

信頼できる正確な情報



デマにまどわされず 正しい判断と行動

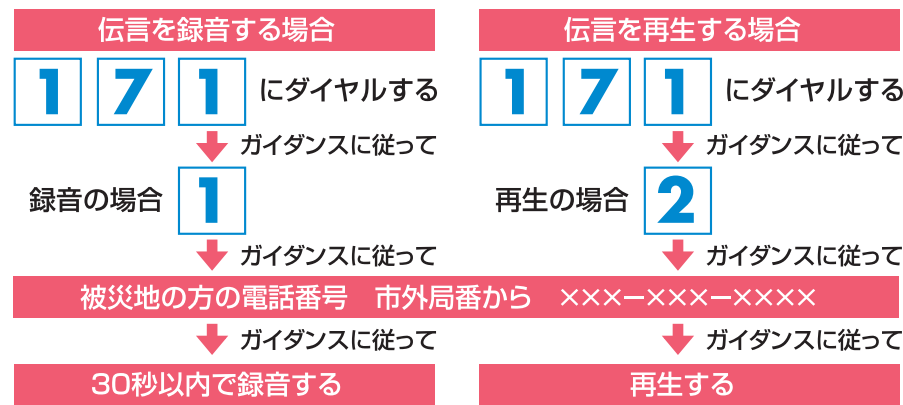
気象情報・災害情報など

- 【酒田市】 <http://www.city.sakata.lg.jp/>
- 【山形県】 <http://www.pref.yamagata.jp/>
- 【気象庁】 <http://www.jma.go.jp/jma/>
- 【山形地方気象台】 <http://www.jma-net.go.jp/yamagata/>
- 【国土交通省山形河川国道事務所】 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>
- 【国土交通省酒田河川国道事務所】 <http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>
- 【山形県河川・砂防情報】 <http://www.kasen.pref.yamagata.jp/bousai/>

NTT災害用伝言ダイヤル「171」・携帯各社の「災害用伝言板」

●災害時にNTTが開設する災害用伝言ダイヤル「171」では、テレビやラジオ等で公表、利用を呼びかけることになっています。通常は利用できません。

- 一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSなどの電話でもかけられます。
- 録音された伝言は48時間(2日間)経過しますと消去されます。
- 料金はかけた人が負担します。(災害救助法が適用された時点で、その地域の利用者は無料になります)。



詳しくは、<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

震度6弱以上の地震などの大災害が発生した場合、携帯電話各社はそれぞれの携帯専用コンテンツやインターネット上の「災害用伝言板」を開設します。利用者の安否確認を伝言板に登録し、それを家族や親戚等が伝言を確認することができるシステムです。(他社の機種やパソコンからも確認可)

- ◆NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/>
- ◆ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- ◆au・by・KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ◆イーモバイル <http://dengon.emnet.ne.jp/>
- ◆ウィルコム <http://dengon.willcom-inc.com/>

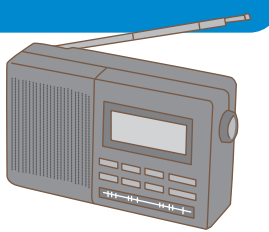
【体験利用について】

- 毎月1日、15日は、各社共通で体験サービスが利用できます。詳しい利用方法や、他の体験期間については各社にお問い合わせいただくか、各社ホームページを確認してください。

FM放送

酒田エフエム放送
ハーバーラジオ **76.1 MHz** メガヘルツ

「酒田エフエム放送ハーバーラジオ」は、周波数76.1MHzのコミュニティエフエム放送です。市内のきめ細かい災害情報をいち早くお伝えします。



酒田市防災行政無線

防災行政無線は、災害時などに皆さんの生命・安全を守るために必要な緊急情報を伝える情報伝達手段のひとつです。市役所に設置した「親局」からの電波を、市内に設置した136か所の「同報系無線 屋外拡声子局(スピーカー)」、施設等に設置した「戸別受信機」が受信し、サイレンや音声放送により情報を伝達します。

防災行政無線の通報例

大津波警報	3秒吹鳴 - 2秒休止 - ×3回 大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。
津波警報	5秒吹鳴 - 6秒休止 - ×2回 津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難してください。
武力攻撃等に関する情報の通報	14秒吹鳴(有事サイレン) 例) 弾道ミサイル攻撃 ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。

その他の通報例

火災	3秒吹鳴 - 2秒休止 - ×5回 こちらは防災さかた広報です。火災発生。火災発生。ただいま、酒田市〇〇地内で建物火災(林野火災)が発生しました。
注意喚起等	上り4音チャイム 例) 台風接近 こちらは防災さかた広報です。 強い台風第〇号は、〇〇日午前に酒田市に最も接近すると予想されています。 土砂災害や暴風、落雷、高波に警戒してください。 今後も台風情報に十分ご注意ください。 下り4音チャイム

毎月第2火曜日午前10時に
防災行政無線の試験放送を実施しています。
(変更になることもあります)

- スピーカーから音が出ていない。
 - 著しい雑音等で聞き取りにくい。
- など、防災行政無線に不具合が見られる場合は、市危機管理課または各総合支所地域振興課までお知らせください。